

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	-	(H.24)No.	1208
-----------	---	-----------	------

事務事業名 <b>県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 23 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	340513
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産費	林業振興対策費	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
近年、野生鳥獣による農林産物被害が深刻な問題となっており、名張市では中山間地域だけではなく市街地周辺においても、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシなどの被害が日常的に発生している。このような中、有害獣捕獲・駆除を推進することで、農林産物の被害軽減を図る。

めざす効果(事業目的)
本事業により有害獣捕獲・駆除を推進することで、農林産物の被害軽減を図る。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	鳥獣残渣運搬処分手数料 32千円	鳥獣残渣運搬処分手数料 400千円	補助金・交付金		
	有害鳥獣被害防止業務 2,060千円	有害鳥獣被害防止業務 2,060千円	その他 ( )		
	緊急捕獲業務 500千円				
<b>直接事業費</b>	<b>2,592千円</b>	<b>2,960千円</b>	<b>2,960千円</b>	<b>2,960千円</b>	<b>2,960千円</b>
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	1,295	1,480	1,480	1,480	1,480
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 1,297	1,480	1,480	1,480	1,480
人工数					
職員	0.02人	0.17人	0.17人	0.17人	0.17人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 163千円</b>	<b>1,258千円</b>	<b>1,258千円</b>	<b>1,258千円</b>	<b>1,258千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 2,755千円</b>	<b>4,218千円</b>	<b>4,218千円</b>	<b>4,218千円</b>	<b>4,218千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	有害鳥獣による農作物被害額	千円	-	-	-	-
	実績			31,531	16,298	23,470	未確定
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度は、シカ8頭、イノシシ15頭を捕獲し、個体数を調整した(被害額は未確定)。	有害鳥獣の個体数は増加の一途をたどっていることから、捕獲による個体数調整の実施を推進していく。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
有害鳥獣の個体数は増加の一途をたどっていることから、捕獲による個体数調整の実施を推進していく。	被害地域の農業者から捕獲に対する要望が多数寄せられている。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	国、県補助事業と市単事業との連携を図る。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	国津地区
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項